

2021.

5

えんだより



ArteKodomotoKi

社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼保園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

お知らせ

- ・保護者会とファミリーデーはお知らせのとおり実施予定ですが、感染状況により変更する場合がございます。ファミリーデーの詳細は後日お知らせ致します。
- ・春のピクニックは4・5歳クラスのみとなります。給食をお弁当箱に詰めて食べます。詳細はクラスよりお知らせ致します。
- ・今年度の写真販売は3回（4か月ごと）です。ネットでのご注文となります。事前に購入方法やパスワードをご連絡します。販売は（株）ハッピースマイルに委託しております。
- ・ゴールデンウィーク中にお子さんと一緒に持ち物の確認をして、お名前の記名があるか、薄くなっていないかをご確認下さい。ご協力よろしくお願い致します。

May 5 2021						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 運動あそび	7 発育測定	8
9 母の日	10	11 音楽あそび	12 1・4歳児 保護者会	13 運動あそび 2・5歳児 保護者会	14 0・3歳児 保護者会	15
16	17	18 音楽あそび	19	20 運動あそび	21 春の ピクニック	22
23	24	25 音楽あそび	26	27 避難訓練 運動あそび	28 誕生会	29 ファミリー デー
30	31					

※0歳と3歳クラスの保護者会は14日（金）に変更となりました。

気持ちを伝え合う言葉で心を交わす



園長 山田寿江

3度目の緊急事態宣言となり、いつ誰が発症してもおかしくない状況です。これまでも身近に濃厚接触者と特定された方や発熱等の症状でPCR検査を受けた方もおります。感染者が誹謗中傷の対象とならないよう、陽性者の特定や詮索などは控えて頂くようお願いいたします。必要な情報は提供してまいりますので、引き続き感染予防対策にご協力下さい。

コロナ禍での過ごし方も、各々の判断に委ねられていることが多いように感じます。それぞれの立場で、思いやりと希望を持って立ち向かっていきたいと思っています。

新緑をぬける風がさわやかな季節です。保護者会では、子ども自慢で親睦を深めたいと考えていましたが、感染症対策でまたの機会に持ち越しです。謙虚さが美德の日本では、我が子自慢は敬遠されがちですが、ぜひお子さんの魅力を本人に伝えて下さい。“生まれきてくれてありがとう”という無条件の愛には大きな力があります。

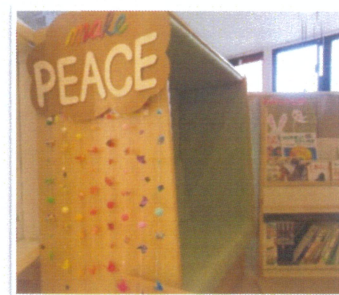
泣いて怒って、良く育つ ～子どもの言葉のいろいろ～

0さいアト組から大きな泣き声が聞こえてきます。赤ちゃんが泣かなかったら大変ですね!“お腹、空いたよ～”と泣くのは、赤ちゃんの言葉のひとつです。両手を伸ばして“抱っこー!”も、眠いのに上手く寝つけずにぐずるのもそうですね。友だちの顔を触るのは、“あなたは誰?”という興味や呼びかけの代わりです。1～2歳のおもちゃの取り合いは、“僕の”“私も使いたい!”“取らないで!”と、心の叫びを表しています。気持ちのぶつかり合いで、押したりかみついたりといった行為ことばになることもあります。小さなうちは大人が代弁しますが、言葉が増えると関り方も変化していきます。

2歳頃の「ヤダー」「ダメ!」のイヤイヤ期。自我の芽生えは成長過程で重要な時期。先輩ママも通った道です。人生で、思いっきり「イヤ」と言えるのはこの頃だけ。いつの間にか落ち着いて、そんな時もあったなあ～と思えます。言葉にできない気持は何かな?と、一緒に探っていけたらいいですね。どうにもならない時は、深呼吸…!子どもの「育つ力」を待ちましょう。

Make PEACE ～話す力、聞く力、考える力から対話へ～

「ごめんね!!」「いいよ!!」のやりとりは、よく見かける光景ですが、まるで喧嘩腰のことも…。言葉が発達し友だちとも会話が増えますが、いつも気持ちが通い合うというわけではありません。大人だって難しい～と感じること、ありますよね。ピースルームは、自分たちで解決するためのスペースです。泣きじゃくっている子には、「まず泣き止んでからお話ししよう」と声を掛けます。ふ～っと息を吐くと気持ちも落ち着きます。移動しているうちに仲直りなんてことも、子ども同士ならではです。心の基盤を土台に、話す力、聞く力、関わる力をつけ、対話する経験を積んでいく子ども達です。

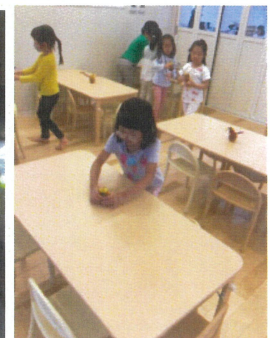


屋上園庭に美しい花がたくさん咲いています。芝生も鮮やかな緑色になり、同時に雑草も至る所に生え出しました。雑草を抜いている様子を見て、興味を持った子ども達が手伝ってくれます。子ども達と一緒にどれを抜いたら良いか考えてみました。雑草でも小さな花が咲いているものや、どんな風に成長するか見たいと思ったものは、そのままとっておくことにしました。

大きくなってしまった雑草は根が深く、抜くのも大変です。
「先生、これ、なんかかたいよー」4歳のAさんが苦戦しています。
5歳のBくんが「やってあげるよ」と助けます。
Bくんがカー杯引っ張ると、雑草は根元で折れてしまいました。
「なんか、手についたよ。ここから出てきたと思う。」
見ると、太い茎の真ん中に穴があります。水が通る道管です。
「きっと、この穴の中に細い棒が入っていて、それが折れたんだよ」と
Bくんが言うと、Aさんは、急にあたりを探し始めました。細い棒状の枯れ草を見つけると「これだ！ あったよ」と嬉しそうにBくんに見せていました。



いつかこの穴が何のためにあるのか分かる日が来るでしょう。でも今は、子ども達が想像力を膨らませて会話する姿が楽しくて、静かに横で聞いていました。



屋上園庭のお花を摘んで、小さな花瓶に入れました。5歳さんが、4歳さんに生け方を教えています。お花は食事の時にテーブルセンターに飾っています。「お花が綺麗で嬉しくて、もっと美味しくなったよ」と教えてくれました。



今月の表紙は 5歳ナノ組が育てているジャガイモの間引きした葉っぱ（根っこ付き）の観察画です。描いているうちに、こんな色の花が咲くといいなと想像画に展開しました。

主任 黒木



少しずつ慣れてきて笑顔を見せてくれるようになりました！

大好きなパパやママと離れるのが寂しくて、受け入れ時に泣いてしまう子ども達。入園して間もない頃は、抱っこをしても“パパがいい”“ママがいい”と訴えるように泣き続けていました。それも仕方ありません。初めての保育園生活、初めての先生達、何もかも新しいことばかりで不安でいっぱいだったのでしょ。徐々に時間を延ばしていきながら、たくさん抱っこをしたり、一緒に触れ合って遊んだりして、少しずつ慣れていけるようにしました。天気の良い日は、バギーに乗って、緑豊かな園庭をゆったりとお散歩。すると、暖かくて気持ち良かったのでしょ。嬉しそうな可愛い笑顔を見せてくれました。玩具にも興味津々で、自分から手を伸ばすようになりました。大好きなぬいぐるみを抱えて満足そうですね。ほかにも、マラカスのように音の鳴る手作りの玩具が大好きな子ども達です。保育者が歌をうたうと喜んで振って鳴らしてくれます。ハイハイができるお友達には、お部屋の中を探索することが楽しくて仕方ない様子。何かおもしろいものはないかなあ、とあちこち行ったり来たりして忙しそうです。

保育園にだんだんと慣れてきたようですね。これからも、子ども達の気持ちに寄り添い、温かい雰囲気の中、安心して過ごせるようにしていきたいと思います。

美味しいごはんが待ってるよ♪

食事の準備を始めると、すぐに気が付いて、ハイハイで近付こうとする姿も見られるようになりました。椅子に座って“早くたべたいよー”と催促する子ども・・・。

反対に“ごはんはちょっと・・・”という姿もあります。そういう子は、抱っこで少しずつスプーンを口に運んであげると、小さなお口で“パクッ”。ゆっくりとモグモグしながら食べています。また、ミルクが大好きな子ども達は哺乳瓶を見ると“早く飲みたい！”と口を開けて待っています。自分で哺乳瓶を両手で支えて飲む子もいます。みんなそれぞれにペースがありますので、一人ひとりに合わせて丁寧に進めていきたいと思います。



Ato 1

知っている先生と一緒にだから安心

部屋には慣れたけど…あれ？ 4月1日笑顔で登園し部屋に入ると“あまり関わりのない先生たちがいる”と不安な様子に変わりました。知っている先生を見つけては、抱っこや膝の上を取り合い「僕を見て！」「私を見て！」というように自分をアピールしていました。新しい友達もたくさん入って来て、泣いている様子を見ると何だか僕も私も不安な気持ちになり泣く事もありました。少しずつ慣れてきたり安心したりすると「なんか面白いことしている」「やってみたいな」という気持ちも出てきて、新担任とも関わりを持つようになってきました。だるまさんシリーズやねこのピートなど、お気に入りの絵本があり、保育士に読んで欲しくて何度も持ってきます。繰り返しの言葉が聞こえてくると、別の遊びをしていた友達も興味を示して集まってきます。保育士と一緒に言ってみたり、セリフに合わせて体を動かしたりと、面白い気持ちを表現しています。

晴れた日は散歩に行くようになり、帽子が準備されるとすぐに見つけ、手を伸ばして早く行きたい事をアピールします。バギーに乗って景色を見るのも楽しいですが、保育士や友達と一緒に手を繋いで歩く事も楽しいと思うようになってきました。バギーに友達がいないと「〇〇ちゃん？」と探し、歩いていると僕も私も歩いてみたいと伝えたり、手を広げたりして訴えるようになりました。

これなんだろう？あれはなに？

大好きな家族と離れて過ごすなんて嫌だ！！というように、おもいっきり泣いて主張する友達。おもちゃがいっぱいあって楽しそうと、部屋で遊び始めたけれど…あれ？お母さんやお父さんがいないと気付き、泣き始める友達。新しい環境で不安いっぱいの中、毎日過ごしているうちに「ご飯食べるの好き」「お散歩って気持ちいいな」

「このおもちゃおもしろいな」などと、楽しい事を探しています。保育士に抱っこされたり、気持ちを受け止めてもらったりし、少しずつ安心して過ごせるようになってきました。保育士のそばで、興味あるおもちゃに手を伸ばして遊んでみたり、友達が楽しそうにしている様子を見て真似してみたりと、保育園で過ごす事を楽しむようになってきました。

まだまだ涙を見せる事も多いですが、毎日生活していく中で、こうしてみようかな、こうすればいい、などと自分で気付いて行動しています。



「1人でできる!」と「せんせい、やって?」

「2歳ピコ組さーん。」と呼ばれると、「は〜い!」と返事したり、「もうアト組じゃないんだよね。」と得意げな表情をしたりと、進級したことを喜ぶ子ども達。それに伴い、朝の支度や着替えなど身の回りのことを自分で行おうとする場面が増えてきました。

ある日の着替えの場面

「着替えたくない…。まだ遊びたい…。」とつぶやくSくん。お散歩が楽しくまだ遊びたいようです。「そっかー困ったね、どうしようか?」と一度気持ちを受け止め、聞いてみると「先生、やってよ。」とポツリ。普段は1人でお着替えができますが、今日の気分では難しいようです。「分かったよ。じゃあズボンはやるからオムツは脱げる?」と聞くと、「うん。」と頷き納得してくれました。

その隣では、Rちゃんがズボンをはこうとしています。「あれ?あれ?」と言いながら足が上手く通せずズボンがねじれていました。保育者がそっと手伝おうとすると、「ん!!できる!!」と強い主張が返ってきます。気持ちを受け止め、手を出さずにしばらく見守っていると、「できたー!」と見せてくれました。前後ろが反対でしたが、ご愛嬌!できたことを一緒に喜び合いました。

一緒に楽しい! ～友達とのかかわり～

春の陽気のなか、子ども達はたくさんお散歩へ出かけ、自然に親しんで遊んでいます。「ギュッと手をつなぐんだよね!」と友達同士で手をつないで歩く事にも慣れてきました。

公園でテントウムシが葉っぱにとまっているのを見つけたEさん。「ねえねえ、テントウムシいたよ!」

「どこどこ?」と興味を示したSくん。2人でテントウムシをじっと見つめ、飛び立つと「きゃー!」「行っちゃったよ!」「探そう!どこどこ?」そうして2人の盛り上がりを見ていた周りの子どもそろそろと集まって一緒に虫探しを始めていました。

友達と一緒にだと、嬉しさも驚きも楽しさも脹らみますね。友達とのかかわりのなかで、気持ちを共有したり、遊びを広げたりして一緒に時間を楽しんでいます。



Nano 3

～サーキット運動って?～

運動遊びでは、サーキットやかっこ、ボール遊びやフラフープなどホールや公園で取り入れる日もあれば、ホールで巧技台を組み立て遊びます。サーキットと言ってもピンとこないかと思うので簡単な説明をさせていただきます！まず遊具をコースの様に組んで、様々な動きを組み合わせる周回する遊びです。楽しく全身を動かしながら心身の機能を高めていくことができるため子ども達にとっても人気の遊びです。乳児クラスでも簡単なコースを作り行っていたので、新しいお友だちが不安で立ち止まっていた時も「ピョンってするの」と教えてあげたり、見本になってあげる姿も見られました。

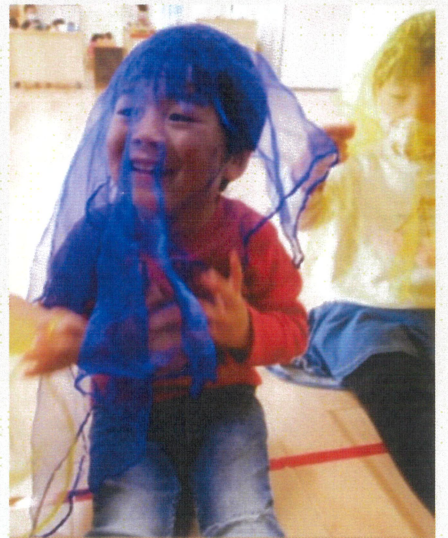
～ドレミファソラシド♪～

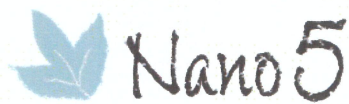
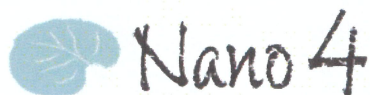
3歳の音楽遊びは音楽の知識や技術を習得するためのものではなく音楽を素材にして“楽しむ”事に重点をおいています。初日で教えてもらった“ドレミファソ”を弾くと立ち上がり“ソファミレド”を弾くと座るのは子ども達のお気に入り、朝の集まりや様々な場面で活躍中♪これからも音楽遊びを通して子ども達の育ちを支えられるよう日々の保育にも取り入れていきたいと思っています。

～hello! 英語イマージョン～

「クリス先生って英語が上手なんだよ。話す時、ヘロー！（hello）って言うんだよ」お兄さんお姉さんに教えてもらった3歳ナノ組の子ども達。“英語？”すると朝の放送で「Good Morning Every One」と聞こえると「これが英語って言うんだよ」毎朝、英語で天気や予定などを話してくれたり、手遊びや絵本を読んでくれたり自然に英語に触れ合う事ができます。

これからも様々な遊びを通し、いろいろな事に挑戦してお友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、様々な事ができるようになる達成感・満足感を味わって欲しいと思います。





異年齢で生活しています

4歳ナノ組と5歳ナノ組は3月の移行期間から同じ部屋で生活しています。4月になっても戸惑う様子はなく同じ空間で過ごすことが日常となっています。一緒に散歩に出かけると、4歳ナノ組の子ども達の歩調に5歳ナノ組の子ども達が合わせて歩いています。4歳ナノ組の子ども達は、お兄さんお姉さんに優しく手をつないでもらえて嬉しそうです。そんな子ども達ですがリレーやドッチボールとなるとライバルに変身！自分の力を出し切って友だちと競い合うのも楽しいようです。さらに、お互いを意識しあう姿もあります。発育測定の時には、4歳ナノ組が見ていることを意識して、5歳ナノ組の子ども達が洋服を丁寧に畳みはじめました。それを見た4歳ナノ組も同じように畳み、テーブルの上にはきれいに畳まれた服がずらりと並びました。異年齢で一緒に生活する中で、お互いを意識し影響し合う子ども達。今後もどんな成長が見られるか楽しみです。

気が合うね！

屋上園庭に4・5歳で遊びに行った時のことです。これまで同年齢の友だちと一緒に遊ぶことの多かった5歳児Iさんが4歳児Aさんと2人で遊んでいました。学年でラインを引くとクラスが分かれてしまいますが実際の年齢は数か月しか変わらない2人です。気の合う友だちが見つかりとても楽しそうでした。同じく屋上園庭で遊んでいると「あれ？何か芽が出ているよ。」と2階の菜園を見下ろした4歳児Kさんがつぶやきました。「ジャガイモだよ。」5歳児Rさんが優しく教えます。「もう食べられるんじゃない？」と4歳児Kさん。2人のやりとりに、周りにいた子ども達も一緒に菜園を見下ろしました。菜園には緑色の小さな芽が出ていてびっくり。ジャガイモの収穫も楽しみです。

獅子の舞

3月の誕生会で卒園児が踊っていた『獅子の舞』は、かっこよくて威勢の良い踊りです。当時3歳ナノ組と4歳ナノ組だった子どもたちは、初めて踊りを見た時は見とれていました。4月になりホールで『獅子の舞』の曲を流すと5歳ナノ組の子どもたちが集まってきました。踊りを教えたわけではないのに足を広げて踏ん張り、キリリとした表情で踊り始めてびっくり！途中の組体操にもチャレンジして大満足の様子でした。5歳ナノ組が踊る姿を見て4歳ナノ組の子ども達も次々に踊りに参加し、ホールがとても賑やかになりました。

「獅子の舞を踊ろうよ～」と子どもたちからリクエストの声がかかる日もあります。こんなにも素敵な踊りを残してくれた卒園児に感謝です。子ども同士で学び合う力は、大人の想像を超えた素晴らしい力のようです。



Lunch & Snack time

食育だより

青葉が茂り、爽やかな風が心地よい季節です。新しい環境にも慣れて、緊張が解けると同時に体調を崩してしまうこともあります。食事の時間やゆっくり体を休める時間を大切に、疲れを残さないようにしましょう。旬の野菜を使ったものや、お子さんの好きな献立など、給食の様子も一緒に話して下さい。

よくかんで食べるとよいことがいっぱいだよ！！

こんな食べ方
していないかな？

×詰め込みすぎ



×早食い



×口を開いたまま



この食べ方だとよくかめないよね…



① そしゃくで刺激され
脳の機能が活性化します！



②口の周りの筋肉を使う
→あごが発達すると、表情が
豊かになり発音が良くなります



③だ液がたくさんでる
→消化を助け、虫歯予防にもなります

④味覚の発達を促します
→味を感じる成分はだ液に溶け込みやすいです

ぼくは、
そらまめくん



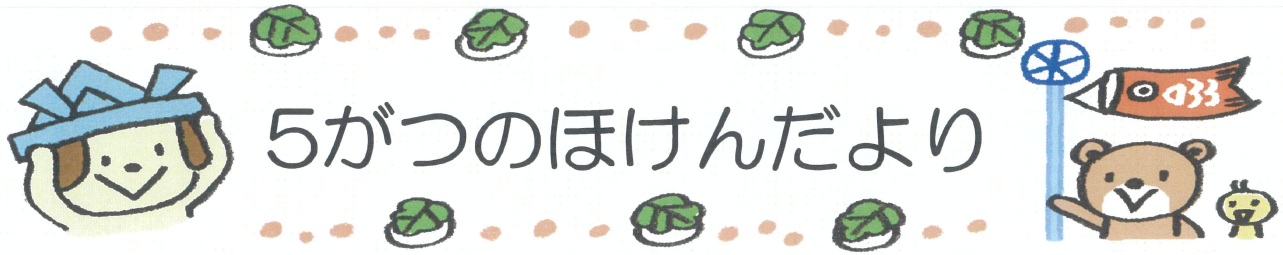
今月は、
サラダで登場さ！

今が旬！ このコーナーでは旬の食材を紹介していきます。

ぼくそらまめは、4月から6月で今がおいしい時期なんだ！
名前の由来はいろいろあるけどその中の一つが、さやが空に向かって
つくことから『そらまめ』と言われているんだよ！

体の中で作られるエネルギーを使うことで、疲れにくくする栄養素
ビタミンB1が多く含まれているんだ。

ぼくは空気に触れるとすぐに味が落ちるから、調理するまでさやか
ら出さないようにしてね！



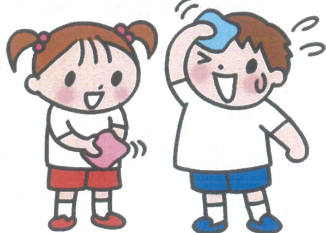
日頃より、感染拡大防止にご協力をありがとうございます。新型コロナウイルスの子どもへの感染が聞かれます。保育園は集団生活の場です。今後も万全な体調の元、登園して頂きますよう、ご協力の程よろしく申し上げます。

正しくマスク使えますか？

- ＊ 新型コロナウイルスの感染経路は飛沫感染が主体です。マスクを付けていれば感染から守れるのでしょうか？咳やくしゃみなどでウィルスを含んだ飛沫で汚染した表面に手を触れてからの接触感染もあります。
- Q. 私たちが一番触れやすい汚染した表面とはどこでしょうか？ A. マスクの外側（表面）
- ★ ＊マスクは鼻から顎まで隠れるようにし、鼻の部分をつまんで密着させ正しくつけましょう。
- ① マスクを直す時マスクの真ん中をつまんで直していませんか？
- ② マスクを外す時、ゴム・ひもを持って外していますか？
- ③ 外したマスクはどこに置きますか？外したマスクを入れる袋はありますか？
- ④ マスクを触った手は洗う又はアルコール消毒していますか？
- ＊ 手についたウィルスが口を介して体に侵入します。これが経口感染です。
- ◆ Q. 経口感染を防ぐにはどうしたら良いのでしょうか？ A. 手指衛生
- 新型コロナウイルスは、アルコール消毒が効果ありますが、手を洗う習慣もつけましょう。
- ★ お子さんが正しく洗えているか見てみましょう。また、手荒れはウィルス、菌の住みかとなります。手指衛生の後はしっかり乾かし、クリームなどで保湿をして手荒れを防ぎましょう。
- コロナウィルスだけでなく様々なウィルス、菌からの感染を予防することが出来ます。マスク装着と手指衛生を頑張りましょう。

忘れ物はないですか？

- 外遊びが増えるこの季節。元気に遊んだ後は、手洗い・うがい、汗をかいたら着替えをします。子どもたちが清潔な園生活を過ごせるように、手拭きタオル、コップ、着替えなど年齢に応じた準備をお願いします。
- 3歳クラス以上はマスクを付けて登園してください。マスクは毎日交換してください。ロッカーにマスクの予備の準備をお願いします。



今月の予定



- 発育測定
- 5月7日（金）
- 0歳児健診
- 5月6日（木） 13日（木）



- 6月17日（金）
- プール前健診を予定しています。必ず受診できるようにしてください。

今日私は、本当にステキな場面に居合わせることができました。そのことを、その新鮮な感動をどうしてもお伝えたくて、既に筆を進めていた「アトリエ便り」の原稿を取り止め、今新たにキーボードをたたいています。

Atelier



「教えるということ・・・」

それは4歳ナノ組のAさんが、Sさんに鶴の折り方を教えている時でした。AさんはSさんに、ゆっくりと丁寧に折り方を伝えていました。Aさんは日頃から自分の制作に取り組む時も、じっくりと丁寧に材料に向き合います。そして折り方を教える時もその姿勢は変わらず、とても優しく丁寧にしました。

実は私は、常日頃「教える」というのは本当に難しいと感じています。教えると言いながら、ついつい全てこちらでやってしまったり、「先生、教えて～」と言われ作り出すと、言った本人は私に任せてどこかで別の遊びを始めていたり「教える」というのはなかなか難しいことなのですが、Aさんはとても嬉しそうに自分も一緒に鶴を折り、それを見せながら時々Sさんの折り紙に手を貸しています。



しかし私がその様子に驚いたのは、鶴が完成に近づいた時でした。折り鶴は最後の段階で二つの羽を左右に開き、胴体をふくらませるところがあります。そこでAさんは、その開き方を教えるのにSさんにこう伝えたのです。

「ここはね、ふわ～って開くんだよ。そしてここが四角くなるように、優しくちょんちょんって。指でちょんちょんってすると、お布団みたいにふわ～となるんだよ。」

そして、こう続けたのです。

「そがね～ ワクワクするんだよ～～」

そう伝えている時のAさんは、それはもうウットリとした笑顔で本当にワクワクしている様子です。Sさんもそれを聴きながらゆっくりと丁寧に羽を開きます。最初は上手いかず、もう一度挑戦すると胴体は正にお布団のようにフワッと四角く広がりました。



出来上がった鶴を見て二人は大喜び。その笑顔から、二人の心の中には同じワクワクがあふれているのが伝わってきます。二人は楽しみと喜びを心の底から共有していたのです。二人で一緒に他の保育者に見せに行き、二人で一緒に折った鶴と一体になったかのようにしゃいでいます。お昼ご飯を食べて午睡をした後も二人は一緒に、夕方には両手に持った鶴を

私に本当に嬉しそうに見せてくれました。

Aさんは鶴の折り方を丁寧にSさんに教えながら、Aさん自身も感じている心からワクワクする気持ちを折り鶴に乗せて一緒にSさんに伝えていたのです。

今日私は「教えること」の本質を、二人に教えてもらいました。AさんSさん、ありがとう。



